

ふるさと
どいつすつぺ新聞



『東京都立水元公園散策』

6月8日JR常磐線金町駅集合 金町駅よりバス乗車水元園内へ 園内散策はなほぶ菜や白やピンクの花が咲き満ち/400株ばかりさうぶ園は都内最大で見応え充分です同時に色とりどりのあじさいが堤約1.4kmにわたり楽しめます。昼は涼亭にてござるそばを食べました。暑がたのど喉ごし最高でした。皆さんカゼひ散策して見てはいいかがですか。



14

『友との葛海公園』

東京ディズニーランドに行く京葉線は、何早ぶりに乗りました。東京駅から京葉線だいぶ遠く感じました。葛西臨海公園駅に集まり皆さんと合流レパークトレインに乗り公園内散策。汐風の広場、葛西清橋、を通り大観覧に向かい乗りました。観覧から見た風景は、見ごと東京湾や東京ディズニーランドを一望出来て良かったです。散策してから展望レストランにて食事して水族館にて、たぐさんの魚や海の生き物がたくさん展示してあり子どもから大人まで楽しめます。マグロの泳ぎの速さにはおび、くりです。春には桜や梅、四季おりおりの花が見れ家族で行、て見てはいいかがですか。



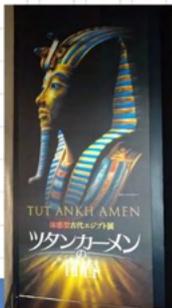
15

『古化エジプト展』

所沢サクラタウンランドマークとしてアート・文芸持物のジャンルを超えあらゆる知を両編成した。世界で他に類を見ないミニシアムです。世界的建築家の隈研吾氏、角川武蔵野ミュージアムと神妙のミステリー古埃及エジプト展ツタンカーメンの青春 ツタンカーメン王墓や体感型古埃及エジプト展、王墓に棺に収められていた副葬品すばらしかったです。最新テクノロジーを駆使した展示空間で最

古の文明にタイムスリップした見いでした。め。たに見りいなので良かったです。

16



『成田山新勝寺と大杉神社』

1月15日初詣の日帰りバスツアー7時集合で早川出発でしたが天候悪まれ晴れでした。大本堂を御前そして昼食会場のホテルマイステイズプレミア成田で食事してから大杉神社バス移動 日本で唯一の夢叶え神社 人生を切り開く神社 茨城の日光東照宮の異名を持つ 絢爛豪華な社殿 今年も辰年です。更に最良の年を願ひ参詣して来ました。皆さんも行、て見てはいいかがですか。



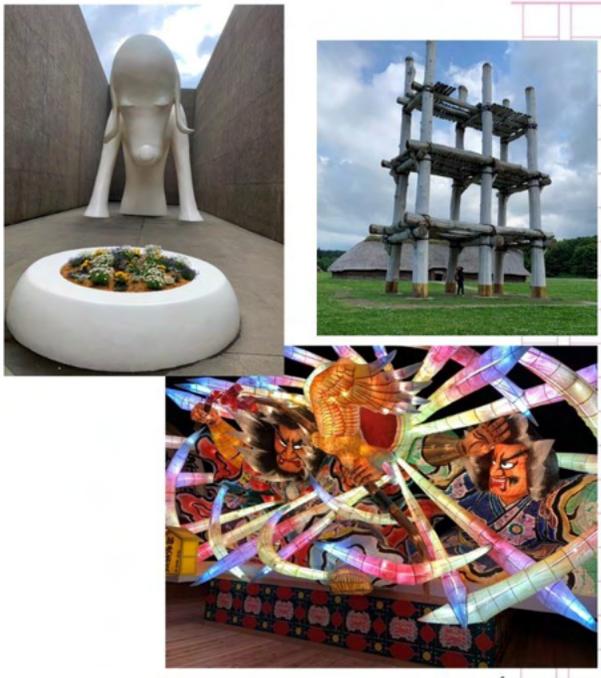
17

翌日は青森へ
初めは、青森のローカル空港、三沢空港
に飛びました。青森県内の距離感がよくわか
らず、あの有名な星の屋グループの「青森屋」
に行きたーいというだけで三沢に行きました。
そんな単純な理由が有り水は行かない三沢
市。発見がたくさんありました。
三沢は米軍基地の街。空港口には米軍の
人さしっぱい。道すがらの個人商店にも英文
字が。

それでも「青森屋」は古く良き日本のお宿
相ふたははじめに「みらのく架り」のシ
が見られたり、水道からりんごジュースが出
たり、青森の郷土料理が食べられたりと、青
森を満喫。
翌日は、いつものノープランで、スター
トしたのがすが、NHKのドキュメント及時
間でも「たウミネコの島」^{新島}「燕鳥」に行ったり
国の特別史跡の「三内丸山遺跡」に行ったり
CMで有名になつた「あおもり犬」のアート

糸の切れた夕日の旅は終らなない。
青森からドタバタと帰った三日後、次は、
グウスと南の大分県別府市へ娘と珠と、南相
馬市に、いるママ友と温泉旅へ
「オイルインフルーシブル」というコトバを
知って、いま可か？
ホテル料金に滞在中の食事、ドリンク(酒もい)
リラクゼーション、アフタービライヤの料金
が含まれて、いるという意味で、早い話、か、
ホテルに入ったら、他の料金がからまない。
館内を案内する、そんな、私にとつては完璧
なホテル!! たまたま「イス」した別府の木
テールがそんなホテルでした。
「チェックイン時に、別府名物「地獄蒸し」
と梅酒が。夕食時にビール、ワイン、サワー
等が、風呂上りにビールが。最高です!!
「えっ! 観光は?」と、定着の地獄めぐり、
水族館、食か? たまらずヨロイか。高崎山
にサトルが居る、手袋が覚悟!! たまにあると
う。サトルは小高を見ている、良いヒール?

作品を見たリと自由気ままな旅がたまりました。
が、帰りも三沢空港からのフライトの手定
が空港周辺が濃霧のため、午前中の便は全て
欠航。東京に帰水さかドキドキ。娘の手助け
もあり、急ぎで、八戸駅からの新幹線に変更
実は、三沢空港は霧がたつ所だと、う発見も
こんな感じのノープラン旅。ハブニングもあ
るりと、おぼろろんは楽しい!!



別府に避難したママ友も合流して、別府を満
ちつてきました。
別府の友人は、地元に戻り、あらたに楽
しみとママフラダンスを始め、今やインスト
ラクターとして頑張つていて、たまたま二日
目にミニ発表会があり、私、友人、娘、珠が
盛りあげたのほ言うまでもありません!!

糸の切れた夕コ飯六月のラストは？
 ラストと餅子のほ、地尾福島。ヒィ？
 福島申因。何處、新幹線不行？
 色にはなつかしそが。

何故福島に行つたかの深い理由も無く！
 福島申因に迷題した友人が話しがやうくり
 たいヒの希望で。

福島申因に有名な「照井」の何盤飲子とご
 らそうになり、翌日は、震笑前まで飯館村を
 営業していたコーヒの店「極久里」でなつか

い、コーヒを飲み、申因から車を30分くら
 い入った山合いの日帰り温泉もにわの湯と
 にかかり。

福島らーマがあるそんなラストツアーズ
 た。故郷、福島は、やっぱいいです！
 名物、桃はまだ早く、こくらんぼを土産に
 買つてきました。フルーツ王国、福島ですネ！！



「WBCLの展示品と見学」

テレビ観戦の興奮が覚めやらす五月下旬に
 東京ドームにあります「野球殿堂博物館」に
 行きました。館内にはWBCLに関連するもの
 や今まで野球に功績のあった人達やプロをし
 てアマの活躍した選手が紹介されています。
 特に、大谷翔平・佐々木朗希選手のコーナー
 は大人気でした。私が一番嬉しかったのは
 読売巨人軍最高の四番打者だった「王貞治」
 さんが昭和五十二年九月三日に世界新記録を
 樹立したホームランボール（七百五拾六号）
 が展示されていた事です。熱気漂う超満員の
 スタンドで現在は七き友人と観戦して興奮し
 た事を鮮名に思い出しました。野球に興味の
 無い人にも一見の価値があり、お勧めしま
 す。



「お正月の2024」

新年、明けましておめでとうございませ
 昨年の年賀状から、極力、年賀状を止め
 方何に、その今の時間を他のことに費や
 た方がよいと思ひ、「年賀状じまい」をす
 ことにしました。

今は、スマホのラインと、いう便利機能か
 あるので、水を使い、年賀明けと同時
 スタンプ（ありおめでとう）を送る、この
 命令に任せ、その日形の土着確認もよいの

私も昨年末に、これからの人生のスマホか
 ンを決めました。

青学大の原監督の箱根駅伝のスマホは
 「買ってきたまるか大作戦」

私のお正月のルーティンとある箱根駅伝も
 終わり、2024（令和6年）からスタートし
 ました！！

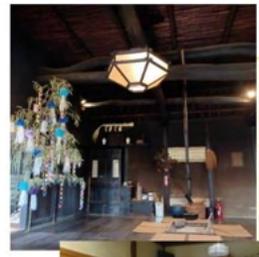
「新宿歌舞伎町の変貌」

昭和四十年代の若い頃より約二十年間を、
 新宿の町（特に新宿二丁目から歌舞伎町）は
 買物や遊び場として過した所です。当時良く
 出かけたのは紀伊国書店・新宿中村屋・高野
 フルーツ店そして三越・伊勢丹のデパートで
 す。そして現在は無い新宿コマ劇場で演歌・
 ミュージカルを観たり生バンドのライブハウ
 スやナイトクラブにも通いました。また映画
 館はピカデリー・ミラノ座などがあり末廣亭

音席もあって楽しい娯楽のある町でした。
 飲食店は高級店と庶民的な店が点在していた
 特有の雰囲気は漂っていたなあと思ひます。
 ところが徐々に危険な町との評判がたつよう
 になり足が遠のいていきました。ところが最近
 のテレビで「東急歌舞伎町タワー」が国内最
 大級のホテル・エンター施設複合タワー（高
 さ約二百二十五メートル）として新名所にな
 っているの放映されたのを見て友人と会かけ
 ました。元のコマ劇場跡地には数多くの映画

杉並区立博物館見学

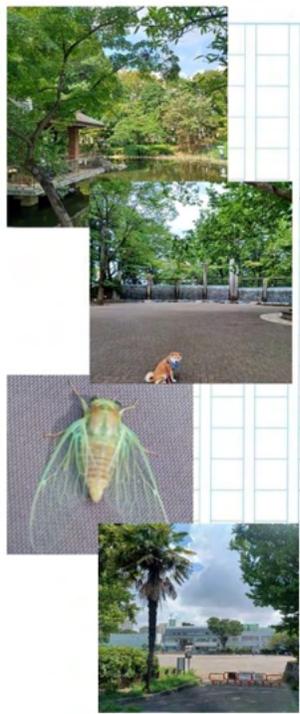
避難して現在住居していません杉並区の歴史が知りたくて蒸し暑い日でしたが歩いて出かけてみました。杉並区に人々が住みはじめた以来(旧石器時代)より今日に至るまで脈々と伝えられてきた暮らしや文化の資料を集・保存し調査・研究を重ねて館内に展示し杉並に住む誇りと愛着を深めることが趣旨の博物館でした。また年に数回「杉並文学館」が開設されて、今回は井伏鱒二没後三十年を記念して通常公開していません資料などが特別展示されています。敷地内には江戸時代の古民家があり農家が行われてきた年中行事を紹介しています。同じような施設が皆さんの住んでいる所にもありましたら見学に出かけよう。



夏の蚕糸公園

公園は東高円寺駅(地下鉄丸の内線)と新宿駅より(午つ目)のすぐそばにあります。四季を通じての憩いの場所ですが、今回は夏の風景を紹介します。九時頃に流れ始める滝は行き良くて、水しぶきが肌に触れ涼しさが増えます。その後ろの池には二十数羽いた鴨も葉ち大きな沢山の鯉が泳いでいて、そばの東屋は大きな樹木で日陰がつくられ今は白の百日紅が眺められて、のんびり出来ます。

その隣に小学校があり公園の一部のような運動場の子供達が出てくると賑やかで私の元気になる活力源です。ところで公園の林で、蝉の脱皮を見ました。最初は透明なうす緑色で神秘的な別の昆虫に見えましたが、少しづつ茶色に変化していくのに驚きました。



が上映される映画館と飲食店・ホテルのある施設「TOSHOSHINEMAズビル」となり、その前方に歌舞伎町タワーがそびえています。その他にも新しい施設が出来ていて、まだまだ発展するのどはないでしょうか。この日は映画「走る緊急救命室」を見て、とんかつ屋で食事として昔を思い出してグラ散歩をし、楽しく時間を過したら少し若返ったような気がしました。



茨城三社めぐり

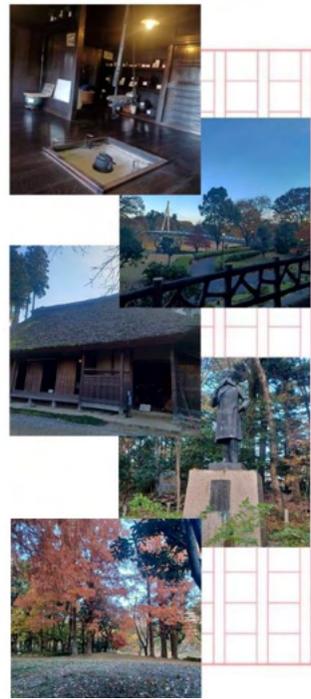
福島へは常磐道を運転して戻りますが、途中下車する事もなく直行してしまいました。今回はバスツアーに参加して茨城県日立市の有名神社「大洗磯前神社、酒列磯前神社、御岩神社」を参拝しました。その中でも感銘したのは御岩神社で古来より信仰の聖地であったといわれ、果下最大開東有数の霊山で平地と隔絶した霊気漂う神域だと感じられました。樹齢六〇〇年といわれる三本杉や境内の遺跡

そして仏像の現存と神仏習合色が濃く残っており独自の信仰を伝えています。また水戸藩の岡崎と位置づけられ代々の藩主が参拝と帯例とする祈願所でもあります。特に現世はもとより死後の世界においても篤くお守りくださると評される「御岩山回向祭」は大変有名で多くの人が参拝すると聞きました。一度お出掛けになつてはいかがでしょうか。お食事とお土産の店「那珂奏おさかな市場」がお勧めです。



「青梅・奥多摩と散策」

今年はず暖冬で十二月になっても紅葉狩りが出来るというので、都心から九十分くらいの「青梅」へ東村山市在住の友人と連れだって出掛けました。青梅線より「青梅駅」より徒歩で清流多摩川沿いを散策。奥多摩の山々を望むと紅葉が残っていて、東京とは思えぬ豊かさと美しい自然を眺める事が出来て至福のひとときを過しました。この叢溪流の側に日帰り入浴も可能な「亀の中ホテル」があり、近くに、金の淵公園、重要文化財の旧宮崎彦住宅そして国会を創った男として知られる板垣退助の像があります。「板垣死すとも自由は死なず」の名言が書かれています。このホテルから有名な御岳山は車で三十分、東京サマールランドも二十五分と観光スポットです。



箱葉の伝言館...東京新聞から今年の夏の猛暑にはもう限界、電気なしでは無理の振り返って原子力発電なしに過ごせるか?でも原発は一度事故にならたらこれ程收拾の困難なものはない。あれから十二年経った今でも地元では風評被害と事故処理に追われ、復興は道中端々ある。伝言館は宝鏡寺住職の早川さんが半生かけて伝え来た集大成。事故以来十年目に私費と投じて建てた。今頃は蟬しぐれが賑わっている事と思う。

伝言館は「公の施設」ではないので、震災資料館として町からの紹介はされていらないが、原発事故の資料としては一人でも多くの人が見学され、後生に生かされてほしいと思う。当初四十年を経つわらと思つて、た原発と六十でも使用すると言うニュースには驚きばかりです。安全神話と信じ切つて、た自分ではありませんが、被災してみるといつも心の中を安全と祈るばかりです。



にぎわい座ふれあい寄席について
五月二十八日、桜木町駅近くの、にぎわい座ふれあい寄席に行つて来た。横浜市職員落語愛好会第81回の開催、流石に数十年のキマリアを持つ方々、本職紛いの会でした。昔風の幟と提灯が並び会場入口から芝居小屋の雰囲気、客席は常連さんらしい人が多く見受けられた。私の推しは神奈川見守り隊で出会った杜の家くみさんです。老親が東北大地震で被災して、初対面の時は感極ま

て落語が中断し、泣き笑いの会になり、そんな事も近づく切っ掛けになりました。寄席へ応接のつもりで出掛けた次第です。仕事仲間が更に趣味で、つながる。一生の友達の集まりだと思ふ。仲間が手作りしながら世の中にエスプリと泣き笑いと届けて元気をくれる。何と有難い事と思ふ。乍ら会場を出る空を見上げたら五月晴れ、思ひ切り笑つた一日に感謝 (第82回は十月二十二日、開催されます)



昨年十二月、不便さえず、と我慢して来たが、必要に迫まれて到頭住民票を移した。昔習った、故郷を離るゝ歌、と思ひ出し、今の自分の気持ちと口ずさんでみた。
嵐の故郷から
夕暮れ迫る空に雲の汽車見つけた
懐かしい匂いの町に帰りたくなる
ひたむきに時を重ね、思いを紡ぐ人達
一人ノ一の笑顔が今、僕のそばに

巡り会いたい人がそこにいる 山も風も海の色も そこはふるさと
雨降る日があるから虹が出る
苦しみを抜くから強くなる
進む道も夢の地団も全ては心の中にある
助け合える友との思い出を大切にしたい
辞難したあの頃から十二年、出会いと別れがあつて今がある。出会いに感謝しながら今が一番の思いと大切にしたい。それにしても故郷を離れるのは淋しい事です。

此州の人みよ三ニヤ、少ヤンが良く集りし
 也、一か、半も重なりと都念の方が便利で、
 暮し、也、一し、又交流会支援して、下、お世
 て、行動し、夜、活動し、信頼関係が出来て、ま
 衣。
 二、此、お、一、増、玉、一、合、い、ま、新、て、体、以、氣、を、何
 り、て、家、族、と、も、と、頑、張、て、一、さ、大、い、と、思、い、ま
 多。
 今後、と、も、と、う、せ、よ、ろ、し、く、お、籠、り、親、く、ま、す。

一人、新、町、界、限、不、ら、り、街、歩、さ、し、
 五月、の、新、装、の、ツレ、汗、ば、を、使、明、の、身、遊、難、し、
 一、さ、み、は、さ、ん、と、衆、の、し、い、街、歩、さ、さ、を、ガ、イ、ド、と、ん
 の、観、望、を、さ、さ、な、か、ら、案、内、し、て、振、返、り、二、の、上、り
 一、の、町、々、は、一、光、此、を、水、の、顔、を、持、て、い、る。
 昔、な、か、ら、の、庶、民、の、町、で、も、あ、の、大、棟、で、す。
 エ、リ、フ、の、中、は、一、食、の、町、一、一、染、物、一、一、江、戸、教、具
 一、一、ハ、リ、一、グ、ラ、フ、一、一、組、組、一、一、と、二、百、半、以上
 一、白、統、く、お、店、が、分、も、活、業、し、て、い、了、町、と、し、て、日、本
 一、の、商、業、都、市、を、見、了、事、が、出、来、ま、し、火、車、以、起、動
 一、し、ま、い、火。
 又、今、何、は、時、間、が、得、か、つ、火、の、で、一、次、の、微、積、に、は、
 風、格、の、あ、る、お、店、レ、ス、ト、ラ、一、一、等、以、着、て、見、火、一、
 一、と、思、一、火、新、で、す。
 一、オ、ニ、で、お、ま、屋、と、し、一、一、人、物、嫌、さ、一、一、玉、子、焼、き
 一、一、と、ト、リ、一、一、等、を、買、て、家、で、ゆ、く、り、展、く、ま
 一、し、火。
 一、さ、が、お、昔、日、か、ら、専、門、店、日、の、で、と、も、古、お、美、味、し
 一、か、つ、火、で、す、一、最後、の、集、合、場、所、は、一、一、清、澄、白、河、一、
 一、の、で、一、隅、田、川、を、渡、り、て、人、物、町、を、夜、に、一、一、

江戸東京組結 職工身体験展示館
 江戸東京組結 職工身体験展示館
 「職人の心」に思いをこめて、職人魂を
 から心地特許
 大層な職人魂を
 中々にも江戸職人魂を
 身につけて、職人魂
 結核の心、職人魂
 心をなやませます。

●清洲橋(国指定重要文化財)
 徳川幕府の幕府
 復興事業として計画
 された橋で、戦国時
 代(1922)に竣工。
 中津川と伊豆川の
 合流に架かる橋を
 モデルとしています。

江戸復興産業電化プラザ展示館
 復興事業の一環として
 開設された江戸職人の歴史を
 展示する展示館

清洲
 清洲は、徳川幕府の幕府
 復興事業の一環として計画
 された橋で、戦国時
 代(1922)に竣工。
 中津川と伊豆川の
 合流に架かる橋を
 モデルとしています。

昔の暮らしの風情を幾手清澄に伺って行きた
 一、火。
 一、二、の、清、澄、は、お、花、で、何、度、と、利、用、さ、せ、て、復、い、火
 一、新、で、と、も、と、う、て、さ、な、場、所、と、し、火。
 一、二、人、ど、は、人、物、町、の、神、社、也、踏、地、歩、さ、さ、日、ど、も、い、い
 一、お、な、あ、と、思、い、火。
 一、オ、イ、ま、は、楽、の、し、一、一、街、歩、さ、さ、し、火。
 一、一、

今と昔

お散歩交流会や歌声バス交流会で人形町や青
梅市と散歩して新と旧、動と静、今と昔と思
いあして懐かしく想われました。
人形町の高層ビルのある中に、大観音寺脇
の路地を行くと戦火を免れ残った数寄屋造り
の家があり、風情ある花柳界の姿が残ってい
ました。人混みの街から静に入ると気持ちで
した。又一歩街に出るとデパートと違ったす
てきな店が有り、今と昔が混在する街並みに
魅せられ再度ゆくり散歩したい気持ちにな
りました。
古里の池は主に農業用の溜の池で、公園は
池と花、木が植えて質素な感じだったのが清澄
庭園は名石や築山、池に突きあた数寄屋造り
建物、目と見張るばかりの庭園で明治十一平
岩崎彌太郎が造園との事、上野の岩崎郎と見
学した事もあり既開の凄さを感じると思に同
時代活躍した渋澤栄一と思へ出した。
この様な歴史、文化、自然を見ることが出来

戦争

地球沸騰化の時代が到来したと国連グテーレ
ス事務総長が言われるように、世界のあちら
こちらで地震、火山噴火、豪雨、砂漠化など
発生し、人類社会に於いて深刻な問題となっ
ているさなか、ロシアとウクライナ、イスラ
エルとパレスチナ自治区ガサ地帯イスラム組
織ハマスと戦争を行っている。世界各国で温
暖化を防止する為、気候変動対策を行ってい
る時であり、ミサイルにより自然破壊など絶
体行なつてはならない行為である。又お互い
に無差別に攻撃している為、多くの市民が犠
牲に成っている。

かつて日本も太平洋戦争を行っていた頃、
多大な自然破壊と人命が失われました。兵隊
さんも含め、三〇万人の方々が死亡し、東
京大空襲では一日に八・三万人の方々が犠牲
になつたそうです。
幼児の項、町の防災サイレンが鳴ると父が
兵隊で居ない為、兄弟で家の雨戸を開け、豆

たのも支援して下さる皆様のお蔭と想ってお
ります。注清澄庭園は岩崎三代が築いた。又
旧岩崎邸は長男久彌本邸として造られた。
深川江戸資料館は暗く、電化製品も無く団
炉、白、桶などが目に写った。裸電球の下
で団炉裏に木と燃やし煙で目を覆いながら、
けむいと云って暖を取っていた事、桶で洗
濯物と洗濯板に擦りながら手は霜焼けで赤く
膨らんでいた事など、青梅市では昭和レトロ
商品博物館の陳列品を見て雑貨店に行ってい
た事や、ペーゴマで誰が最後まで回っている
か勝負して遊んでいいた事と思へ出し、懐かし
く、又遣る瀬無の気持ちになつてしまひまし
た。戦後国民は貧乏人が多く、衣食住が儘な
らぬことが多く苦しい時代だったのが、結い
と云うお互いに助け合い、支え合い慣わしが
あり災害時庄かされました。今物は豊富に有
り個々の生活が主でコミニケーションも薄れ
想定外の災害時支え合うことが出来るでしょ
うか。



電球を消し、防空帽をかぶり、B29爆撃機が
編隊を組んで飛行している空を見上げながら
近所の家の竹藪の中に、二十人位隠れる防空
壕があり、そこへ逃げたものです。今でも、
早く、早くと言われながら防空壕へ入った
思い出があります。幼児時覚えていたのは空
襲の時ばかりです。

誰が言ったか、贅沢は敵だ、欲しがりませ
ん勝つまでは。
戦後、農地はあつても働き手が無く、国民は
総貧乏人で食べることが困難でした。母の実
家が農家であつたにもかかわらず、ご飯の中
には、ダイコン、サツマイモ、麺類、その他
食べられる物が入つていてお米の量と少くし
こいねようです。

当時、母の姿は、頭に手拭いとかぶり、カ
ツボウ着と付け、モンペ姿で釜戸に火をつけ
木と燃やし、炭を作り、ご飯や味噌汁、火と
使用するもの全て、処理してました。又水
は井戸水を使用していた為手は霜焼けで腫れ

あがっていました。電化製品の少くない時代
母は、いや日本の女性は大変苦勞した時代だ
っにんばと思いました。

伯母さんがいんぺで、手の無い人、足の
無い人、戦争孤兒等「衣食住」が大変で食べ
物は、さつまいも、じゃがいも、もろ草、か
ぼちやの葉や茎などあらゆる物を食べて生き
抜いたと言っていました。

今、戦争孤兒の映像を観ると悲惨な気持と
絶体戦争を行ってばならない、死守になりま
す。

生前父に、戦地でどんな気持ちで人と殺す
のかと問うと「相手を殺さなければ自分が殺
される」と言っていました。窮地にたいた
れた時、自分の身を守る事が必須だった。必
から戦地から帰国出来るのではなにか、子供
心で思っていたのだ。

鹿児島県知賢に有る特巧平和会館で特巧隊
の姿を見て来ました。
「十死零生」生きる望みゼロ、死を覚悟で敵

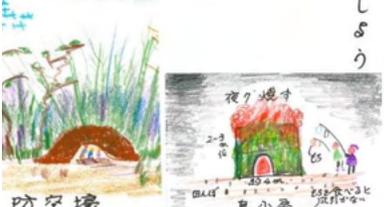
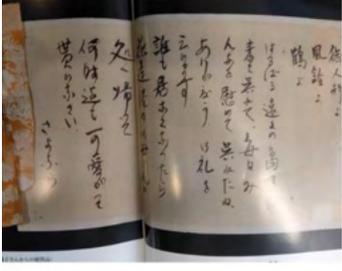
お正月

子供の頃、もういくつぬるとお正月、お正月
には凧上げて、駒と遊んで遊ばしより、早
く来い来いお正月、歌を唄って、夢や希望と
新しい年に託して喜びでした。
今、避難して十数年、老人と成つた我が身、
街で買った「松がざり」を玄關に取り付け、
時々行き交う若いカツポルを眺めながら若か
かり白と想い出し懐かしく、現実を老いも
感じながら駅伝走者のエネルギークに倒され
ながら声援を送り、お雑煮と食べて過ごすの
が、我が家の正月三が日です。

我が家のお雑煮は(カツオ赤汁、島肉、ナルト、シイタケ、ミソ、角餅)
です。が、お正月はどの様なお雑煮を食べているの？
古里のお正月をタイムスリップすると懐か
しい、思いあが浮んで来ます。
師走に入るとお正月を迎える為、神棚の掃除
障子の張り替えなど、因合持の作業が有り
家の内外を綺麗にして、男は山へ柳や赤松
別名女松、メマツ、を採り、家の出入口等に

に体当りする攻撃の意味です。
戦争末期敗戦の操相がみいて来たにわかか、お
らず、沖繩を守る最後の手段として、知賢か
ら「いつまでも、いつまでも元気で、幸せに
」と言つて出撃し、四三九人の特攻隊は命を
落しました。身近にせまる死、残された父母
の幸せを願って残した手紙、自分は涙が止ま
りませんでした。二十文前後の若者達のご最
年少者は十七歳でした。

なことだと価値観を生み出してしまつた。
戦後、七十余年平和に過ごして来ましたが
世界情勢、日本の立場など変わりつつあります
が参政権と活用(投票率、議員55%、令和三年
参議員52%、令和四年)し、主権ある国民が
戦争のない社会へと進んで行きますように



柳や女松、しの縄と蔵神様が見付けやすいよ
うに取付けます。

通常門松は松、竹と使用しますが我が家では、松はあまりま
だか、お正月は女性の祭りと云われ、女松、神と飾ります。
女性は餅つきや正月の食料の準備をして、師
走二十八日まで終えて、大晦日を迎えます。
今は餅つき機で作りますが、昔は臼と杵で作った時は各家庭から
「お餅つき機」の音が聞こえ懐かしさを感じます。
炬燵に入り、兄弟、姉妹の会話も過去、現在
未来、子供の事など、お話しは尽きないまま

夜明けまで続き、元旦は履正月です。
子供達は家中を駆け回り、母親は子供、大人
の食事、二回に分けて準備するので多忙です
がこれもお正月の喜びと思っております。
黒風の様な三が日を過ぎると十四日鳥小屋行
事(竹藪と小屋を作り五穀豊穡、家の安全を願う。正月飾り、いつ飾り等。
いゆき地方ご天孫の時代から続いている行事)
が終わると農作業の準備と成ります。
帰省する親子を見ますが、親元に帰省する時
が一番幸せな時だったと感じております。



「成田山新勝寺とドイツ村」
 今年は年始めに成田山新勝寺で精進料理とお昼飯をいじりだき年の終わりに十二月に再び成田山に行く日曜りの旅があり、ドイツ村のイルミネーションにひかれ参加しました。へ何を隠そう一ヶ月後には又成田山に行くのが決まっているのです。(笑)
 ドイツ村は初めてです。敷地が広くまわりきれいか不安でしたが、どうにかこうにか見る事が出来ました。今年のテーマは「ガリパ」旅行記。見晴らし台から見る地上絵ではカリバーの足跡が動いています。観覧車からのイルミネーションも美しい。恐竜や動物の造形物もあり、子供達も楽しめる。
 帰りには運転手さんの気転と好意で幕張の方を通り定景をみながら帰って来ました。(一事、改派滞とさける為、満足の一日でした。)



「六本木散策」
 九月上旬毛利庭園やテレビ局、乃木神社等を見て歩きました。途中話題のジャニーズ事務所の前(道路上から)を通りかかった時整った人が「立ち止まらなさい」と声を出して、いま私達がその場所を見に来たので、はいから少し腹がたりました。
 毛利庭園は想像していたより小さく感じました。六本木ヒルズは気軽にに行けない雰囲気がありました。
 テレビ局の「クレヨンしんちゃん一家」のフィギアを見ると春日部のニンボル？のポーズとするのと同じ時に埼玉での生活が長くなつた現実を思い知らされました。



「鴻巣花火大会」
 十目の第一工曜日、鴻巣花火大会。毎回招待していた、だき河川敷の良い位置で見せてもらいます。今年もコロナ後に開催された昨年以上に人と車や天型バス等が多く驚きました。二万発の花火が打ち上げられます。最後の三百連発と四尺玉の打ち上げは圧巻です。四尺玉にいたっては上がるかどうか、それすら最後までわからない。心臓もドキドキ。今年は成功！



「榛名神社と伊香保の旅」
 伊香保温泉には同級生との親睦旅行で行きました。榛名神社には寄り道か？たので楽しめました。ここには七福神様と天狗様がおられ写メコンプリート。全ての神様と天狗様に小銭でお願ひ事をさせて頂いた。欲深い私でした。久々に山道と階段「ハアハア」最後まで行きバスに戻れたから、まあ良いか？
 改修中で見れない所もありましたが、静寂さの中に昔から生命をつないできた、一、滝、や木々、犬さな岩にいいれぬものを感じました。
 伊香保の階段は上まで行かないで途中の足湯で疲れを癒やせ、玉こんにやくをおなかを満たして帰って来ました。一緒に行った大和田さんありがとうございました。





「角川武蔵野ミュージアム」
 八月の暑い日、東所沢駅から迷いながら角
 川武蔵野ミュージアムに「ツタンカーメン」の
 青春の展示を見に行きました。その建物は
 今まで見たことのない形。人を圧倒する花崗
 岩で作られていました。設計は隈研吾さん。
 私達には想像する事も出来ない青空に映える
 建築物に見入りました。入口すなわ
 から白い状況でしたが人の列ができて入口の
 存在がわかりました。

ツタンカーメンに関する展示品は実物の三
 分の一の大きさまでできていて本物そのものの
 造りでした。なんと近く学生の頃に度々、
 興味をもっていたその頃の私に度々、
 不思議な感じがしました。エジプトの王家の
 谷や星空の映像を見るとその地にあるがれを
 持っていました。今昔を感じた日でした。

■著作・発行

認定個人情報保護団体
特定非営利活動法人

医療ネットワーク支援センター

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-15-1-412

TEL：03-6911-0582

FAX：03-6911-0581

<https://www.medical-bank.org/>

■発行者

医療ネットワーク支援センター 理事長 人見 祐

■発行者

どうすっぺ会実行委員

2024年3月発行